

同	西土居	八七六	宅地	同	同	四一六	全部
同	上土居	八八四、一	畑	同	同	一〇一	幾部
同	同	八七七	田	同	同	一〇九	同
同	同	同	同	同	上安長	九	同

鳥取縣告示第七百四十六號

吳鎮守府ニ於テ昭和十五年度海軍志願兵左ノ通徵募セラル、志願者ハ左記事項了知ノ上昭和十五年二月一日迄ニ志願書ヲ居住地ノ市町村長ニ差出スヘシ
 町村長志願書ヲ受理シタルトキハ本人ノ最終修學ノ學校長ヨリ學業成績証明書ヲ徵シ願書ニ添付シ
 二月五日迄ニ知事ニ進達スヘシ
 市長ニアリテハ志願書ニ依リ海軍志願兵志願者名簿ヲ作製シ二月三日迄ニ一通ヲ知事ニ提出スヘシ
 昭和十四年十二月五日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

一 徵募兵種及採用員數
 水 兵 (掌電信兵ヲ除ク)
 水 兵 (掌電信兵)

若 若
 千 千
 名 名

航 空 兵 (一 般)	航 空 兵 (豫 科)	航 空 兵 (偵 察)	機 關 兵	工 作 兵	軍 樂 兵	看 護 兵	主 計 兵	二 志 願 者	若 若 若 若 若 若 若 若	千 千 千 千 千 千 千 千	名 名 名 名 名 名 名 名
-------------	-------------	-------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------	-----------------	-----------------	-----------------

志願兵種別	同 年 齡	同 出 生 期 間
-------	-------	-----------

左記以外ノ志願兵	滿十六年以上 滿二十一年未滿	自 大正八年十二月三日 至 大正十三年十二月二日	出生ノ者
----------	-------------------	-----------------------------	------

航 空 兵 (乙種飛行豫科練習生志願者)	滿十五年以上 滿十八年未滿	自 大正十一年十二月三日 至 大正十四年十二月二日	出生ノ者
-------------------------	------------------	------------------------------	------

00567

水兵(掌電信兵志願者)	滿十五年以上	自大正十年十二月三日	出生ノ者
航空兵(偵察練習生志願者)	滿十九年未滿	至大正十四年十二月二日	
軍樂兵	滿十六年以上	自大正九年十二月三日	出生ノ者
	滿二十年未滿	至大正十三年十二月二日	

三 徵募 檢 查 日 時 及 檢 查 區

志願者檢査場	檢 査 場 所	檢 査 區 域
參集年月日及時時刻		
昭和十五年二月十三日午前八時十五分	八頭郡賀茂村	八頭郡 賀茂村、國中村、船岡村、大伊村、國英村、大御門村、單村、安部村、八東村、丹比村、若櫻町、池田村、上私郡村、中私郡村、下私郡村
同 年二月十四日 上	育英尋常小學校	八頭郡 河原町、八上村、西郷村、散岐村、大村、用瀬町、佐治村、社村、智頭町、山郷村
昭和十五年二月十六日 上	鳥取縣會議事堂	鳥取市及岩美郡一圓
同 年二月十七日 上	氣高郡正條村正條尋常小學校	氣高郡一圓

00568

同 年二月十九日 上	東伯郡倉吉町	東伯郡 西郷村、日下村、長瀬村、淺津村、瀨津村、宇野村、泊村、舍人村、東郷村、花見村、小鹿村、三徳村、三朝村、倉吉町
同 年二月二十一日 上	東伯郡八橋町八橋尋常小學校	東伯郡 旭村、竹田村、小鴨村、上小鴨村、矢送村、南谷村、山守村、北谷村、高城村、社村、灘手村、下北條村、中北條村、上北條村
同 年二月二十二日 上	西伯郡御來屋町御來屋尋常小學校	西伯郡 榮村、大藏村、由良町、逢東外二村、下郷村、上郷村、古布庄村、八橋町、赤崎町、以西村、成美村、安山村、下中山村、上中山村
同 年二月二十四日 上	米子市	米子市 大高村、巖村、日吉津村、大御村、淀江町、宇田川村、高麗村、所子村、大山村、庄内村、名和村、御來屋町、光徳村、逢坂村
同 年二月二十五日 上	米子市青中學校	米子市 彦名村、崎津村、渡村、外江村、境町、上道村
同 年二月二十六日 上	日野郡黒坂町黒坂尋常小學校	日野郡 餘子村、中濱村、大篠津村、和治村、富益村、夜見村、成實村、天津村、大國村、法勝寺村、上長田村、東長田村、賀野村、手間村、尚徳村、五千石村、幡郷村、大幡村、縣村、春日村

四海軍志願兵志願書々式

- 一 志願兵種 第一 何兵 第二 何兵
- 一本籍地 何縣 何市 何町 何大字 何番地 (何番屋敷)
- 一現住地 本籍地記載例ニ依リ記入シ本籍地ト現住地ト同一ノトキハ「本籍地ニ同ジ」トスヘシ
- 一族稱並職業 士族 (平民) 何業
- 一 戶主トノ續柄 戶主 何某 何男 (弟) 某 (右側ニ振假名ヲ附スヘシ)
- 一 志願者氏名 何 某 (右側ニ振假名ヲ附スヘシ)
- 一 生年月日 大正 何年 何月 何日生
- 一 兵役關係 昭和 何年 適齡
- 一 修學程度 何々學校 卒 (何學年修了又ハ在學中)
- 一 青年學校 何科 修了 (何科在又ハ中退)
- 一 身長、體重、胸圍 身長 何糎、 體重 何斤、 胸圍 何糎
- 一 海軍志願兵令第二十七條各項ニ該當セス
- 右海軍志願兵志願ニ付 此段相願候也

鳥取縣知事 副 梶 喬 雄 殿

志願者 何 親權者 何 某 某 印 印

五 志願者 注意事項

1. 志願者ハ検査場參集時刻十五分前迄ニ検査場ニ到着シ係官ノ指揮ニ從フヘシ
2. 志願者ハ検査前日必ス入浴シテ身体ヲ清潔ニシ耳ノ検査ヲ完全ニ行ヒ得ル様耳垢ヲ除キ口中ヲ清潔ニシ且安眠スヘシ
3. 志願者ハ青年學校手張、鉛筆、辨當、風呂敷 (身体検査ノ際被服ヲ包ム爲) ヲ持參スヘシ
4. 志願者ハ學術ノ豫習ヲ行ヒ、又豫メ身体検査ヲ行ヒ懸垂不能又ハ肺活量不足ノモノハ懸垂ノ練習、深呼吸ヲ實行シ不合格ヲ未然ニ防止シ、尙トラホーム、皮膚病等ノ如キ一時的疾患ノ爲不合格トナラサル様努力スヘシ

六 其ノ他詳細ナル事項ハ市町村長ニ付承合スヘシ

鳥取縣告示第七百四十七號

蘭及生糸現在高並生絲製造高及消費高調査ノ蘭絲調査員左ノ通囑託及解囑アリタリ

昭和十四年十二月五日

鳥取縣知事 副 梶 喬 雄

囑託セラレタル 蘭絲調査員氏名	解囑セラレタル 蘭絲調査員氏名	擔當調査範圍	囑託セラレタルハ
前田 榮	土井憲太郎	岩美郡 宇倍野村 大成器村	昭和十四年十一月二十一日
廣谷政義	澤 禎範	同郡大岩村	同

岡島愛造	金田正治	同郡東村	同
山田整夫	大町文雄	同郡蒲生村	同
松本義親	牧忠四	八頭郡河原町	同
田畑房治	羽田野祐作	氣高郡湖山村	同
片村義久	山本一男	同郡鹿野町	同
竹本壽男	田中一	同郡勝谷村	同
北村晴雄	國森秀雄	同郡逢小鷲河坂村	同
小島高愛	福田駒雄	同郡明豐治實村	同

◆鳥取縣告示第七百四十八號
 繭生產費調査ノ繭絲調査員左ノ通囑託及解囑アリタリ
 昭和十四年十二月五日

鳥取縣知事 見 喬 雄

囑託セラレタル繭絲調査員氏名	解囑セラレタル繭絲調査員氏名	擔當調査養蠶者	解囑セラレタル日
山田陽太郎	森留啓吉	番號 氏名 糸谷忠雄	昭和十四年十一月二十日

◆鳥取縣告示第七百四十九號
 氣高郡小鷲河村河内第二耕地整理組合地區並ニ設計書及規約變更ノ件認可セリ
 昭和十四年十二月五日

◆鳥取縣告示第七百五十號
 米穀移動高調査員擔當調査區域ノ變更並囑託解囑左ノ通異動アリタリ
 昭和十四年十二月五日

鳥取縣知事 見 喬 雄
 副 見 喬 雄
 鳥取縣知事 副 見 喬 雄

米穀移動高調査擔當區域變更之部

新擔當調査區域	舊擔當調査區域	調査員氏名	職務執行所ノ
農産物検査所 郡家出張所所管區域	農産物検査所 鳥取出張所所管區域	山根義治	農産物検査所 郡家出張所

備考ニ左ノ一項ヲ加フ
四、本表ニ掲ゲタルモノ以外ノ銘柄、量目、等級ノモノハ其ノ實質ニ應ジテ本表ニ示シタル價格ニ準ズルモノトス

正 誤

昭和十四年十一月十五日鳥取縣告示第七百十九號木炭ノ販賣價格(黒炭「樫小割並」ノ最終卸賣價格「一、圓四七」トアルハ「一、圓七四」ノ誤ニ付訂正ス

00575

通 牒

受商第六五一八號

昭和十四年十一月二十五日

經濟部 長

- 市 町 村 長
- 市町村産業組合長
- 縣郡市町村農會長
- 縣産業組合聯合會長
- 縣漁業組合聯合會長
- 漁業(協同)組合長
- 縣木材同業組合聯合會長

殿

農 林 水 産 業 用 石 油 空 罐
再 利 用 ニ 關 ス ル 件

最近鐵鋼其ノ他非鐵金屬ノ消費規正愈強化セラレ石油空罐(ドラム罐及五ガロン罐)ノ製造モ窮屈ト相成石油配給上ニ支障ヲ來シ居ル現狀ニ有之候處今回其ノ筋ヨリノ通牒ノ次第モ有之從來モ留意ノ事ト存候得共今後猶一層現品ノ購入ニ際シテハ空罐ハ極力石油供給者ニ返還相成リ刻下ノ空罐窮

00576

00577

迫事情ヲ緩和シ石油配給ノ圓滑ヲ期スル様致度爾今別記要領ニ依リ實施相成度此段及通牒候
追而十一月中ニ於テ返還シ得ル石油空罐見込數量並其ノ返還先至急商工水産課宛報告相成度申
添候

要 領

- 一 産業組合、漁業組合及其ノ系統機關ニ於テ購入シ配給スルモノ並ニ其ノ他適當ナル團體ニ於テ共同購入ヲ爲シ又ハ共同購入ノ斡旋ヲ爲シタルモノニ付テハ各其ノ團體ニ於テ空罐ヲ取纏メ之ヲ特約店又ハ販賣業者ニ通知シ之ガ引取ヲ爲サシムルコト
- 二 前項以外ノモノニ付テモ前項ニ準ジ極力空罐ヲ販賣業者ニ返還セシムルコト
- 三 需要者ニシテ既ニ空罐ヲ所有スル者ハ之ヲ通罐トシテ再利用ヲ爲サシムルコト
- 四 一及二ニ依リ返還シタル空罐ニ付テハ毎月十日迄ニ前月中ニ返還シタル空罐數ヲ返還先別ニ取纏メ商工水産課宛報告スルコト

發林第三七二號

昭和十四年十一月二十五日

鳥取縣經濟部長

市 町 村 長
木 材 業 組 合 長
林 産 物 檢 査 員 支 所 長
殿

00578

用材規格外製材品ニ對スル
記 號 標 示 ノ 件

用材ノ規格外生産ニ際シテハ用材生産統制規則ニ依リ其ノ都度知事ノ許可ヲ要スルコト、相成居候
處右許可済ノ生産品ト雖何等カノ標記ナキ時ハ取締上支障有之候ニ就テハ該製材品ニ對シテハ爾今
別紙様式ニ依ル標記(特種規格ノ畧)ヲ等級ト正量トノ中間ニ摺込標示スルコト、相成候條組合員並
ニ一般業者ニ對シ至急之ガ周知方御取計相成度此段及通牒候



寸 二

發社第八二四號

昭和十四年十一月二十八日

學 務 部 長

町 村 長 殿

00579

恩賜 財團濟生會要救療者ノ救療ニ關スル件

標記ニ關シテハ既ニ夫々御配慮相煩居候處本年ニ於テハ貴町村ニハ未タ一名ノ救療者モ無之候條之ガ救療ヲ要スル者ニ付テハ精々恩典ニ浴セシメル様致度候ニ付方面委員トモ聯絡相成此ノ上トモ聖旨ノ普及貫徹ニ一層ノ御協力相成度此段及通牒候

受商第六三七〇號

昭和十四年十一月二十八日

經濟部 局長

市 町 村 長 殿

煖房用石炭ノ消費節約ニ關スル件

石炭需給ノ現状ヨリシテ煖房用石炭ハ相當強度ノ消費規正ヲ爲スコト、相成候處今般中央官廳ニ於テハ之ガ消費節約ノ實行方法トシテ左記方策ヲ實施シ極力消費節約ニ勉ムルコト、致候條貴管下ノ一般民間ノ煖房用石炭ノ使用者ニ對シテモ地方ノ實情業種ノ如何等ヲ適宜斟酌シ速ニ右方策ニ準據シタル節約方法ヲ講ゼシメ以テ消費節約ノ實效ヲ舉グル様適當ニ御指導相煩度此段及通牒候

記

中央官廳ニ於ケル煖房用石炭ハ原則トシテ十二月十日ヨリ翌年三月十五日迄ノ期間ニ限り使用スルコト

00580

冷寒地其ノ他ニ在ル地方官廳ニ對シテハ之ニ準ズル様各中央官廳ニ於テ適當ニ措置スルコト
右使用期間ハ例年ニ比シ約一ヶ月ノ短縮トナリ使用量トシテハ約二割五分ノ節減トナル計算ナルモ本年下半年期煖房用石炭ノ節減率ハ三割七分ナルヲ以テ差引一割二分ハ他ノ方法ニ依リ節約ヲ圖ルコト即チ前記使用期間中ト雖モ溫暖ナル日ハ焚燒ヲ中止スルハ勿論焚燒方法ノ合理化、バルブノ調節等適當ナル措置ヲ講ズルコト
尙官廳用石炭全般ノ消費ニ付テハ各用途ニ從ヒ少クトモ一般民間ノ消費規正率以上ノ節約ヲナスコトトナリ居レリ

受社第一二九九〇號

昭和十四年十二月一日

學務部 部長

市 町 村 長 殿

戰歿者遺族ニ對スル不當保險契約勸誘ニ關スル件

戰死戰傷病死者遺族ニ對スル一時死亡賜金、扶助料、金鵝勳章、年金等諸種ノ恩典ニ惠マレル折柄遺族ノ老幼婦ナルヲ狙ヒ各保險會社勸誘員ガ競ツテ自社保險ニ加入セシメント凡ユル巧言ヲ盡シ執拗ニ加入ヲ勸誘セル事例有之今後ニ於テモ相當發生スルモノナルヲ豫想セラル、ヲ以テ之カ防止方ニ關シ一般ノ御配慮相成度此段及通牒候

行 旅 死 亡 人

一 取扱者 徳島縣三好郡三名村長

一 住所、氏名 不詳 男

一 死後約二十四時間以内、推定年齢二十四、五才位

身長約五尺三寸、体格中肉、頭髮ハ五分刈、顔面長形ニ

シテ鼻高ク一見美男子ナリ

着衣ハ軍服仕立ノ詰襟服ニメリヤスシャツ黒色毛糸シャツ

ハセ付ノ腹巻(ミシン仕立ノ物)黒木綿ノ猿股黒セルズボ

ント小倉地ノ足袋十文七分ヲ着用セリ首ニハ新シキ西洋手

拭ヲ結ビ居ル所持品ハ腹巻中ニ金一錢ト服ポケットニ青色

封筒ト小ナイフ封筒表面ニハ「遺書」ト鉛筆ニテ記載シア

リ他ニ何等ノ所持品ナシ

右昭和十四年十一月九日本村大字西字大步危通稱カモシ

カ谷谷尻吉野川水中深サ約一丈ノ所ニ溺死セルヲ發見檢視

ヲ了シ本村墓地ニ假埋葬取計置候條心當リノ者ハ當役場

へ申出スヘシ

右心當リノ向ハ直接當該村長宛照會相成度

昭和十四年十二月五日印刷
昭和十四年十二月五日發行

行 旅 死 亡 人

一 取扱者 徳島縣三好郡佐馬地村長

一 住所、氏名 不詳 男

一 年齢四十四、五才、中肉面長、身長五尺二寸位、頭髮前高

眉濃目奥目鼻高シ鬚髯濃シ、其他普通

右昭和十四年十一月十日佐馬地村大宮白地字本名榮橋々下

ニ於テ溺死致候ニ付假埋葬取計置候條心當リノ者ハ當村役

場ニ申出ツヘシ

右心當リノ向ハ直接當該村長宛照會相成度

發行 鳥取縣鳥取市東町
印刷 鳥取縣鳥取郡大正村大字古海支所